

第19回無形文化遺産理解セミナー

平成29年

10月28日(土)

午後2時~3時30分

会場: 博物館ホール

定員: 100名(先着順)

※本セミナーでは、文楽の公演はありません。

※展示場内を観覧する場合は観覧料が必要となります。

無料
要申込
(裏面参照)



主催 堺市

◆講師

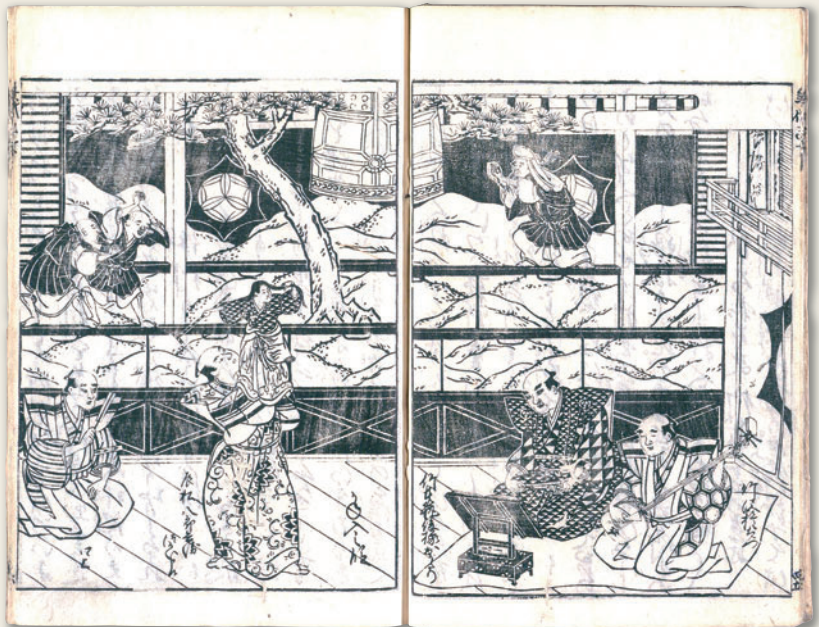
久堀 裕朗

大阪市立大学 大学院文学研究科 教授

人形浄瑠璃文楽の歴史

今回のセミナーについて

現在、大阪の国立文楽劇場で上演されている人形芝居を、私たちはふつう「文楽」と呼んでいます。「文楽」は「人形浄瑠璃」と言い換えられることもあります。「文楽」と「人形浄瑠璃」は同じものなののでしょうか。もし同じならば、「人形浄瑠璃文楽」と二つの呼び方をつなげて言うことがあるのはなぜなのでしょう。また、佐渡島の人形芝居や淡路島の淡路人形芝居など、人形芝居は各地に伝わっています。これらと「文楽」との関係はどうなっているのでしょうか。「人形浄瑠璃文楽」の歴史を整理しながらその転換点について解説し、あわせて、現在私たちが観ている「文楽」はいつ頃完成されたものなのかについてお話ししたいと思います。



画像：国立国会図書館デジタルコレクション「今昔操年代記」から転載

【今昔操年代記】(いまむかしあやつりねんだいき)
西沢一風の著作。享保12年(1727)刊。上下2巻。豊竹座・竹本座のひいき客同士の言い争いを老人が仲裁するという体裁で、浄瑠璃の歴史や太夫の語り口への批評をまとめたもの。

※人形浄瑠璃文楽は平成20年にユネスコの無形文化遺産の代表一覧表に記載されました。

《お申し込み方法》

- 電子申請システム、電子メール、FAXまたは電話でお申し込みください。
電子メール、FAXの場合は、参加希望者全員(1通につき4名まで)の氏名(ふりがな)、住所、電話・FAX番号を明記の上、**堺市博物館 無形セミナー係**へお申し込みください。
TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263
E-mail: hakugaku@city.sakai.lg.jp



電子申請システムでのお申し込みはこちら▶

《お申し込み受付・定員》

10月2日(月) 午前9時30分から受付開始、先着順100名。

＝平成29年 展示のご案内＝

- ◆特別展
「堺織通ものがたり」開催中～11月5日(日)
- ◆泉北ニュータウンまちびらき50周年記念企画展
「泉北丘陵 ―谷あいの村々とニュータウン―」
11月18日(土)～12月24日(日)

- 開館時間 午前9時30分～午後5時15分(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(祝日・休日の場合は開館)
- 観覧料 特別展開催期間中
一般500円(400円)／高校大学生250円(170円)／小中学生50円(30円)
上記期間以外
一般200円(160円)／高校大学生100円(70円)／小中学生50円(30円)
※()内は20名以上の団体料金
※堺市内在住・在学の小中学生は無料
※65歳以上の方、および障害のある方は無料(要証明書)



堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内
TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263

E-mail hakugaku@city.sakai.lg.jp

URL <http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan>

ハロー・ミュージアム(博物館の展覧会などを24時間ご案内) TEL.072 (244) 9898